

(様式1)

学校番号 ((小)・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (三ヶ日東小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

・学校側の要望を聞き学校サポーターや外部講師などを積極的に活用するなど、学校と地域を結ぶ役割を果たしていく。
・子供にとっても、外部講師の方を招いての授業は楽しみであると思われる。今後も多様なジャンルの方に教育活動に参加をしていただき、子供たちの興味関心を高めながら、体験活動の充実を図っていく。
・学校運営協議会で熟議した内容をPTA、地域に積極的に発信し、様々な人々との協働で子供たちを育てる環境を作っていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ (ア) よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

・学校運営基本方針を受けて、目指す子供像「よりよい自分、よりよい仲間、よりよい学校をつくる子」の具現化のために、具体的方策を意識した熟議ができた。
・議題に沿って、活発な話し合いができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ (ア) よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

・子供たちの体験活動や教育活動の充実のために、たくさんの地域人材が携わることで、グランドデザインにもある「地域と共に輝く学校」の具現化につながった。
・学校からの要請を受け、どんな支援ができるか、どんな人材がいるのか話し合うことで、どの子にも目と手が行き届く活動ができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ (ア) 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

・「コミスク便り」として各回、情報発信を行った。HPに掲載するとともにさくら連絡網で全保護者に送付し、自治会の協力をいただき全戸に回覧することで、学校運営協議会の活動について知っていただくことができた。
・さらに、サポート活動について一層の情報発信をして周知に努め、サポーター募集にも活用していくことも検討していきたい。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ①学校の教育活動・体験活動がより充実するようにサポーターや地域の人材と繋いでいく。
(サポーターの募集の仕方の工夫、今日的な課題の講座の検討 等)
- ②学校のグランドデザイン実現のために学校運営協議会で熟議したことをPTAや地域へ、さらに積極的に情報発信し、連携を深め「地域と共に輝く学校」としていく。